

1. 基本的な感染拡大予防対策

(1) フェリー旅客ターミナル、フェリーへ立ち入る場合

① 密にならないための対策

- ・ 団体定員数を 350 名に設定し、他団体との同乗を避けること
- ・ 事前予約をしたうえで、混雑を避ける為に、代表者、添乗員等がフェリー旅客ターミナルへ出発する前に、検温を行い、出港時間の 1 時間前には到着し、窓口へ報告をおこなう
- ・ 切符購入時、乗船時に並ぶ場合、2 m 程度間隔をあける
- ・ 団体旅行の場合、ターミナル外に待機し、代表者が切符購入手続きをおこなう（悪天時は基本バスで待機し、本部港窓口係員と調整する）
- ・ 乗船名簿、健康状態申告書、事前の体温測定など、伊江村の感染症対策に協力・応じること
- ・ フェリー乗船後、客室は使用せずに客室外で間隔をとり過ごすこと、悪天時はその限りではない。フェリーにバスを乗せる場合は、当日、他の乗客の状況により本部港係員、乗組員の指示に従い客室外で間隔をとり過ごすこと、悪天時は他者との接触を避けるためにバス内にて過ごすこと
- ・ 航海中に発熱、強いだるさや息苦しさがある場合は、代表者、添乗員が直ちに乗組員に知らせること

② 発熱等の症状のある方の入場制限

- ・ 37.5 度以上の発熱または風邪症状、倦怠感などの体調不調の旅行者は乗船できないものとし、団体においては、前記症状の旅行者が 5 % 以上確認された場合は、その団体の乗船はできないものとする。

③ その他

- ・ 国、沖縄県による緊急事態宣言の発出に基づき来島自粛を行う。

(2) 対人距離確保の方法

- ・ 手洗い、消毒（乗船口、お手洗い、客室内設置）、マスク着用の徹底、会話は対面を避ける。
- ・ 客室内では前後左右 1 座席以上はあけて着席する。客室外では 2 m 程度間隔をあける。
- ・ 咳エチケットの徹底（咳・くしゃみをする時はマスクやティッシュ、ハンカチ、袖、ひじの内側などを使って口や鼻をおさえる）

(3) その他基本的な感染拡大予防策

- ・ ペーパータオル、ハンカチを使用する。ハンドドライヤーは使用しない。トイレの蓋を閉めて汚物を流す。
- ・ 唾液等が付着するゴミは、ビニール袋等に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。
- ・ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いをする。

2. 乗船後に発熱、咳など、健康状態に何らかの異常が発生した場合

(1) 伊江港への航海中及び入港後（入村時）の対応

- ・ フェリー船内の指定場所で待機させ、可能な限り他の乗組員や乗客との接触を避ける等の対策を実施する。（退村時も同様とする）
- ・ TACO：旅行者専用相談センター（空港施設内）に問い合わせ、指示に従い必要な措置を実施する。
- ・ 伊江村診療所の指示に従い必要な措置を実施する。
- ・ 医師の診察により、経過観察が必要と判断した場合は、伊江村が指定する宿泊施設において、数日～1 週間程度の経過観察期間を設けるものとする。

（※）県内及び県外の方・・・宿泊費等全額自己負担

(2) 本部港への航海中及び、入港後（退村時）の対応

- ・ TACO：旅行者専用相談センター（空港施設内）に問い合わせ、指示に従い必要な措置を実施する。
- ・ 他者との接触が極力ない環境で待機することとし、移動に際しては公共交通機関を利用しないこと